

令和 7 年 2 月 14 日
9 時 30 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 17 番

氏名 永見 利久

答弁を求める者

(○をつける)

会委員長

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員

発言項目及び要旨

1、中山間地域の課題解決・人口減少と定住について

平成の大合併から 20 年が経過し人口減少は進み、周辺地域・中山間地域の中には、高齢化率が 88.89%以上で平均年齢 75 歳以上、世帯数が 10 世帯程度の集落もあり、集落機能の維持が難しい集落もある。また、生活に必要な個人商店施設の閉店、ガソリンスタンドの減少、診療所の閉所など、周辺地域・中山間地域の抱える課題は多い。これに関連した質問をする。

- ① 周辺地域・中山間地域での生活を営むための施設の減少について市の見解を伺う。
- ② 全国の各自治体も、人口減少対策は大変重要な問題と捉え、いろいろと取り組まれている。昨年の 12 月議会で人口減少と定住について質問致した。その時点での人口は 50,000 人を少し割り込んだ状況だったが、今年 2 月時点での人口は、48,485 人まで減少している。前回の質問の答弁では、人口減少対策として「若者支援ファンド事業」「若者が暮らしたいまちづくり」を通じた対策に取り組んでいると伺っている。この様に人口減少が進んでいる状況について市の見解を伺う。
- ③ 若者の移住・定住人口の創出についても質問した。答弁では、結婚に際しての経済支援、「特定地域づくり事業」による若手音楽家の移住と定着の支援、「地域おこし協力隊」制度を活用しての移住促進、空き家バンク登録物件の改修費の補助など、若者移住促進などの取組について伺っている。現況と成果について見解を伺う。

2、中山間地域の農地集約化・有機米について

農家の高齢化や担い手不足により耕作放棄地が増え、雑草が茂っている状況で復田するには大変な労力と期間が必要と思う。昨年の夏、コメ不足の状況が全国各地で起きた。全国の耕作面積の減少や、農家の高齢化等なども、コメ不足の要因ではないかと思われる。これに関連した質問をする。

- ① 島根県の農地の多くは中山間地域にあり、山あいには点在している。圃場整備は行われているが、山裾の小さな水田もあり経営的に不利な農地がある。中山間地域の農地集約の現状について伺う。
- ② コメを生産している個人農家の高齢化、後継者のいる個人農家、各種法人等の現状を伺う。
- ③ 中山間地域コメ生産者の高齢化や後継者不足での耕作放棄地や離農が増加する。中山間地域の農家と農地の維持や、コメ生産の効率化の対策について市の考えを伺う。
- ④ 浜田市の有機米生産量の状況について伺う。
- ⑤ 有機米の流通の状況について伺う。

3 有害鳥獣対策について

有害鳥獣対策について、今まで、イノシシ被害、クマの出没・クマに襲われた事案など質問している。今回は、クマ、ニホンジカによる被害の状況、市としての対策について質問する。

- ① 島根県下では昨年の10月の段階でクマの目撃件数は例年の2～2.7倍で過去最多を更新する情勢であるとの報道もあった。10月末に、浜田市内で散歩中にクマに襲われた被害、1月には市内商業施設近くにクマが出没している。また、東北では、積雪がある中、クマの出没などの被害も報道されている。クマの出没状況と被害について伺う。
- ② 繁殖力の高いニホンジカは全国的に個体数が増加しているとの報道もある。被害状況は、地域によって異なるが、野菜・水稻への被害などが年々増加している。また、山林では樹皮の被害や下草などに対しての食害を受ける恐れや、雨による斜面の崩壊などの被害にも繋がるとと思われる。浜田市におけるニホンジカ生息状況についてどの様に把握されているのか伺う。
- ③ 近隣の邑南町・北広島町では、シカに対する防護柵を設置され被害防止に取り組まれている。金城地域で何度もシカの目撃情報があり、野菜への被害や水稻への被害もある。市のシカ対策について伺う。
- ④ 近隣の自治体では防護柵対策に取り組まれている。浜田市として、ニホンジカ対策の防護柵等の支援についての考えを伺う。